

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-267874

(43)Date of publication of application : 28.11.1991

(51)Int.Cl.

H04N 1/32

(21)Application number : 02-066201

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 16.03.1990

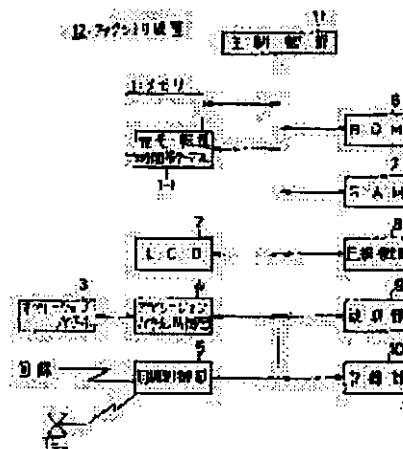
(72)Inventor : INOUE YASUHIRO  
NAKATO TOSHIHIKO  
SHIBATA KAZUHARU

## (54) TRANSFER CONTROL SYSTEM FOR FACSIMILE EQUIPMENT

## (57)Abstract:

**PURPOSE:** To easily transfer an original while the transfer time is limited within a designated transfer time by adopting the constitution such that a transfer time zone is registered in advance corresponding to a destination and an original is transferred within the transfer time zone only corresponding to a transmission request.

**CONSTITUTION:** A facsimile equipment 12 is provided with a destination transfer time zone table 1-1 registering a destination and a transfer time zone corresponding to each other. The destination transfer time zone table 1-1 is referenced upon a transfer request to transfer an original within the transfer time zone registered in advance, and the transfer request is stored at the outside of the transfer time zone and the original is transferred when the transfer time zone is reached. Thus, the original is transferred within the designated transfer time zone.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

## ⑫ 公開特許公報(A) 平3-267874

⑮ Int. Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成3年(1991)11月28日

H 04 N 1/32

Z

2109-5C

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 ファクシミリ装置の転送制御方式

⑰ 特 願 平2-66201

⑱ 出 願 平2(1990)3月16日

⑲ 発 明 者 井 上 康 弘 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社  
内⑲ 発 明 者 中 塔 利 彦 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社  
内⑲ 発 明 者 柴 田 一 治 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社  
内

⑳ 出 願 人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

㉑ 代 理 人 弁理士 岡田 守弘

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

ファクシミリ装置の転送制御方式

## 2. 特許請求の範囲

ファクシミリ装置によって原稿を指定した転送  
時間帯に転送する転送制御方式において、宛先と転送時間帯とを対応づけて予め登録する  
宛先・転送時間帯テーブル(1-1)を設け、転送要求に対応してこの宛先・転送時間帯テー  
ブル(1-1)を参照して予め登録されている転送時  
間帯のときに原稿を転送し、一方、転送時間帯で  
ないときに当該転送要求を記憶しておき転送時間  
帯が到来したときに原稿を転送するように構成し  
たことを特徴とするファクシミリ装置の転送制御  
方式。

## 3. 発明の詳細な説明

(概要)

ファクシミリ装置によって原稿を指定した転送  
時間帯に転送する転送制御方式に関し、宛先と転送時間帯とを対応づけて登録しておき、  
転送要求に対応してこの転送時間帯のみで転送を  
行い、指定時間の範囲内に限定して原稿を転送す  
ることを目的とし、宛先と転送時間帯とを対応づけて予め登録する  
宛先・転送時間帯テーブルを設け、転送要求に対  
応してこの宛先・転送時間帯テーブルを参照して  
予め登録されている転送時間帯のときに原稿を転  
送し、一方、転送時間帯でないときに当該転送要  
求を記憶しておき転送時間帯が到来したときに原  
稿を転送するように構成する。

(産業上の利用分野)

本発明は、ファクシミリ装置によって原稿を指  
定した転送時間帯に転送する転送制御方式に関す  
るものである。

(従来技術と発明が解決しようとする課題)

従来、ファクシミリ装置による原稿の転送は、手動で転送指示あるいは回線を介して転送要求して一義的に受け付け、そのまま転送するようにしていた。このため、ある時間帯に限定して転送し得ないという問題があった。

本発明は、宛先と転送時間帯とを対応づけて登録しておき、転送要求に対応してこの転送時間帯のみで転送を行い、指定時間の範囲内に限定して原稿を転送することを目的としている。

#### 〔課題を解決する手段〕

第1図を参照して課題を解決する手段を説明する。

第1図において、ファクシミリ装置12は、原稿を送受信するものである。

宛先・転送時間帯テーブル1-1は、宛先と転送時間帯とを対応づけて予め登録するテーブルである。

#### 〔作用〕

転送要求などの情報記憶するメモリである。

宛先・転送時間帯テーブル1-1は、宛先と転送時間帯とを対応づけて予め登録するテーブルであって、例えば第2図に示すようなテーブルである。

LCD2は、液晶パネルであって、時間（例えば現時間、通信時間など）、送信中の宛先、電話番号などを表示するものである。

オペレーションパネル3は、オペレータが各種操作を行うためのパネルである。

オペレーションパネル制御部4は、オペレーションパネル3からの入力を取り込むなどの制御を行うものである。

回線制御部5は、回線を介して宛先のFAX（ファクシミリ装置）を発呼して原稿を送信したり、送られてきた原稿を受信したりなどの各種回線制御を行うものである。

ROM6は、プログラムや、各種データを予め記憶させる読み出し専用のメモリである。

RAM7は、作業用データなどのデータを格納

本発明は、第1図に示すように、転送要求に対応してこの宛先・転送時間帯テーブル1-1を参照して予め登録されている転送時間帯のときに原稿を転送し、一方、転送時間帯でないときに当該転送要求を記憶しておき転送時間帯が到来したときに原稿を転送するようにしている。

従って、宛先と転送時間帯とを対応づけて登録しておき、転送要求に対応してこの転送時間帯のみで転送を行うことにより、指定時間の範囲内に限定して原稿を転送することが可能となる。

#### 〔実施例〕

次に、第1図から第4図を用いて本発明の1実施例の構成および動作を順次詳細に説明する。

第1図において、ファクシミリ装置12は、転送要求に対応して宛先・転送時間帯テーブル1-1に予め登録されている転送時間帯内に原稿を該当宛先に送信したり、送られてきた原稿を受信したりするものである。

メモリ1は、宛先・転送時間帯テーブル1-1、

する読み書き可能なメモリである。

圧縮・復元部8は、原稿から読み取った画像データを圧縮したり、受信した圧縮された画像データを元の画像に復元したりするものである。

読取部9は、原稿を読み取り、画像データに光電変換するものである。

記録部10は、受信して復元した画像データを紙に印字などして記録するものである。

主制御部11は、CPU（中央処理装置）などであって、各種制御を行うものである。

ファクシミリ装置12は、1ないし11から構成され、原稿を送受信するものである。

第2図は、本発明に係る宛先・転送時間帯テーブル例を示す。これは、宛先と転送時間帯とを対応づけて登録するテーブルである。登録された転送時間帯内のときに指定された宛先の電話番号を発呼し、蓄積されている原稿を転送する。

第3図は、本発明の転送説明図を示す。

第3図において、宛先のFAX(A)に対しては、転送要求があったときに第2図宛先・転送時

間帯テーブル1-1を参照して8:00~10:00の転送時間帯のときにのみ原稿を転送し、それ以外のときに当該転送時間帯が到来するまで待って転送する。同様に、宛先のFAX(B)に対しては、13:00~15:00の転送時間帯のときにのみ原稿を転送する。

次に、第4図フローチャートを用いて第1図、第2図構成における動作を詳細に説明する。

第4図において、①は、着呼する。これは、第1図で回線を介してファクシミリ装置12に着呼することを示す。

②は、DTMF信号が受信されたか否かを判別する。これは、DTMF信号(プッシュホン式電話の番号などを押下したときに発生するビーボーパーという信号)が受信されたか否かを回線制御部5で判別する。YESの場合には、③を行う。NOの場合には、④で待機する。

③は、転送要求コマンドか否かを判別する。これは、DTMF信号を用いて転送要求コマンドが受信されたか否かを回線制御部5で判別する。Y

をもとに主制御部11が判別する。YESの場合には、⑤で蓄積されている原稿の画像データを指定された宛先に転送する。NOの場合には、⑥を繰り返し行い、待機する。

また、⑦は、オペレータがオペレーションパネル3から転送要求を行う。この転送要求に対応して、⑧以降を行う。

#### (発明の効果)

以上説明したように、本発明によれば、宛先に対応づけて転送時間帯を予め登録しておき、転送要求に対応してこの転送時間帯のみで転送を行う構成を採用しているため、指定された転送時間帯内に限定して原稿を容易に転送することができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の1実施例構成図、第2図は本発明に係る宛先・転送時間帯テーブル例、第3図は本発明の転送説明図、第4図は本発明の動作説明フローチャートを示す。

ESの場合には、⑨を行う。NOの場合には、⑩を行う。

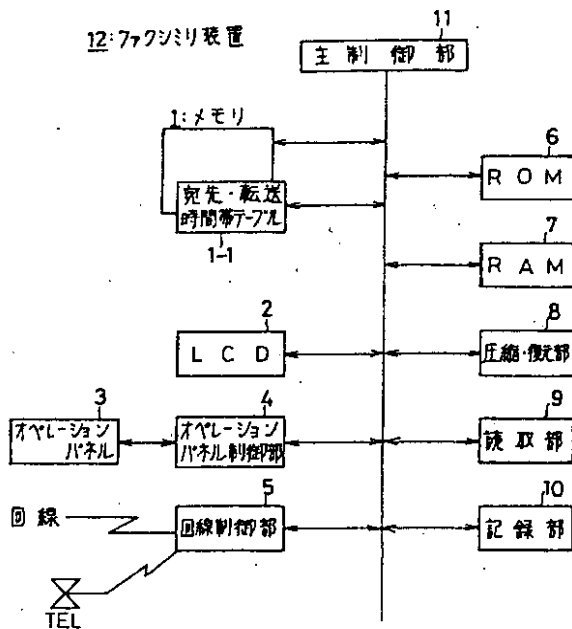
④は、転送時間帯か否かをROM6内のプログラムをもとに主制御部11が判別する。これは、④YES、④YESで転送要求コマンドが受信されたので、現時間が第2図宛先・転送時間帯テーブル1-1を参照して当該転送要求コマンドで指定された宛先の転送時間帯に含まれるか否かをROM6内のプログラムをもとに主制御部11が判別する。YESの場合には、転送時間帯内であるので、メモリ1あるいはRAM7に蓄積などされている原稿の画像データを指定された宛先に転送する。一方、NOの場合には、転送時間帯内でないで、⑥、⑦、⑧を行う。

⑤は、メモリ1に記憶する。これは、⑤NOで現時間が転送時間帯内でないを判明したので、この旨および宛先をメモリ1に記憶する。

⑥は、転送時間帯か否かを判別する。これは、現時間が、⑥でメモリ1に記憶した宛先の転送時間帯内になったか否かをROM6内のプログラム

図中、1-1は宛先・転送時間帯テーブル、3はオペレーションパネル、5は回線制御部、8は圧縮・復元部、11は主制御部、12はファクシミリ装置を表す。

特許出願人 富士通株式会社  
代理人弁理士 岡田 守弘



本発明の1実施例構成図

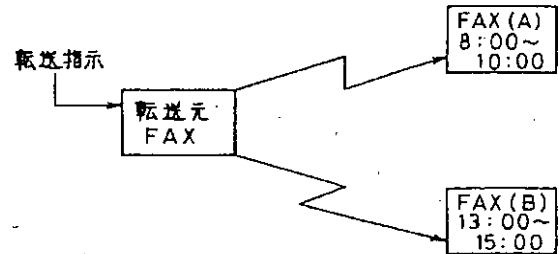
第 1 図

1-1

NO.	転送時間帯	宛 先
1.	8:00~10:00	000-xxx-△△△△ (FAX(A))
2.	13:00~15:00	000-△△△-xxxx (FAX(B))
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮

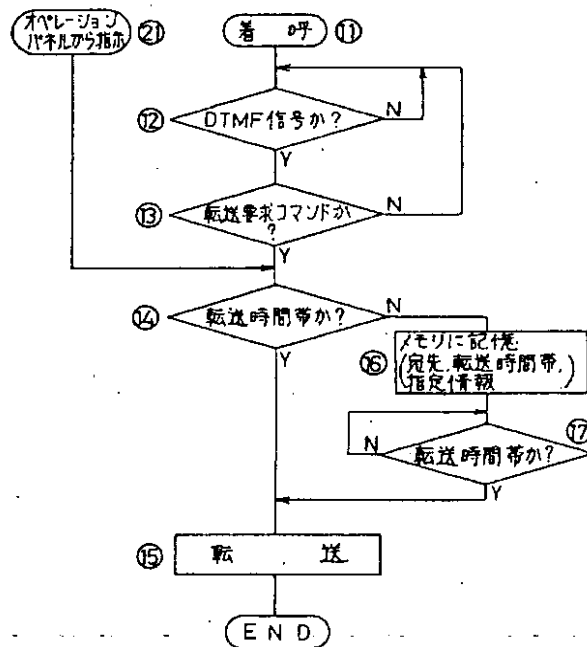
本発明に係る宛先・転送時間帯テーブル例

第 2 図



本発明の転送説明図

第 3 図



本発明の動作説明フローチャート

第 4 図